

日本共産党

JCP

第25号

こんにちは

渡辺みのる

です

東村山市議会議員



東村山市議会議員 渡辺みのる活動報告

それでも原発は必要ですか？



福島県富岡町にある「廃炉資料館」に展示されている福島第一原発の管理区域全体を再現したジオラマ(管理区域内はカメラの持ち込みが禁止されている)

見通し立たない廃炉作業

8月6日、福島第一原発の視察に行ってきました。

これまで、市民のみなさんと一緒に福島県の被災地の視察には参加してきましたが、2011年の

事故後初めて、原発の管理区域内(福島第一原発の敷地内)に入りました。

震災と事故から8年5か月がたち、TVや新聞などではほとんど報道されなくなり、伝えられるのは「復興が進んでいる」という内容ばかり。

廃炉には30〜40年かかると言われていますが、正確には「溶け落ちた核燃料を、建屋の中から取り出すのに30〜40年かかる」という説明でした。

その先、核燃料を取り出した原発をどうするかもいまだ決まっていないとのことでした。

しかも、確認しているモノが燃料デブリなのかどうかもまだ確認できていないといのです。

廃炉に向けて、全く見通しが立っていないということではないのでしょうか。

ひとたび事故を起こせば、人間の手に負えないばかりか、人体に生物にも環境にも大きな影響を与える原子力発電。

「フクシマの教訓を活かす」のであれば、原発をやめ、エネルギーも地産地消できる社会を作っていくことが必要です。

いまだ多くが帰れない 国の責任で生活保障を

「復興が進んでいる」の象徴とされているのが、故郷に帰って生活をしている人たち。

ですが、実際には避難した2割ほどしか変えることができていないという話もあります。

中には、「もう住めない」と変えることを諦め、他の地域で生活を再建した人もいます。

政府は、自主避難者への住居の支援を今年3月で打ち切りました。放射能などへの不安から変えることができない人たちに、あまりにもひどい仕打ちです。

国策で始められた原子力発電。その事故の犠牲になった人たちに誠実に、寄り添って支援することが「福島に寄り添う」ということだと思えます。

もう二度と同じ過ちを繰り返さないためにも、一日も早く原発がなくなるよう取り組んでいきます。

保育合研に参加してきました！



保育合研の初日(8月3日)、
なごやポートメッセで開かれ
た前大会の様子。



お困りのことなど
お気軽にご相談ください。

8月3日から5日で開催された「全国保育団体合同研究集会(保育合研)」に参加してきました。全国から7千人以上の保育園・幼稚園関係者や研究者、保護者、学生などが参加しました。10月から始まる「無償化」や日本の保育に起きている問題などを学習したり、現場の悩みを共有したり、保育技術を勉強したり…。「子どもを権利の主体として…」と頑張る保育士さんの取組みに感動しました。子どもに関わるすべてのみなさんと力を合わせていきたいです。

- 東村山市議団法律相談
場所：東村山市役所 日本共産党控室
日時：毎月第1水曜日(月により変更有)
※要予約のため、渡辺までご連絡ください。
- 東村山市議会9月定例会
8月29日(木)～9月30日(月)
ぜひ膨張にお越しください。
※9月議会で扱う請願・陳情の締め切りは、8月15日(木)です。



渡辺みのる子育て日誌⑩

うちの3女はずるい。
2人のお姉ちゃんの様子を常にうかがい、「自分がいつ誰に甘えれば一番効果的なのか」を、しっかりわかって甘えている。
ついこの前も、私がお風呂に入ろうと準備をし、「お風呂行ってくるね」と言ったら「だめ～」「おとうしゃんいっちゃやだ～」。ほんの10～15分間、風呂に入るだけなのだが、こんなことを言われたら離れられなくなる。
私やお母さんに怒られると、怒っていない方に駆け寄り、「パパ(ママ)があ～(泣)」。
お姉ちゃんたちがいる前で、あまり3女だけをかかわいがることはしないようにしているのだが、甘え上手な3女が甘えているのをいつも姉2人はうらやましそうに見ている。

SNSやっています！
SNS上でのメッセージなどでもご意見をお寄せください。
「渡辺みのる」で検索！